広報 はちまんたい hachimantai
May. 2022 No.323
令和4年5月12日発行
〒028-7397岩手県八幡平市野駄第21地割170番地
■ホームページ https://www.city.hachimantai.lg.jp
■発行 岩手県八幡平市 ☎0195-74-2111 FAX0195-74-2102
■印刷 株式会社臼ゆり
■編集 企画財政課

キラリ輝人 ひかりびと 106

共に歩む姿勢大切に、選手の育成に励む

盛岡中央高校スキー部 コーチ
伊藤時彦 さん
いとう・ときひこ 63歳 ＝南寄木＝

昭和33年生まれ。妻、長男と3人で暮らす。趣味は小説を読むことで、お気に入りは重松清の「とんび」。特技は一通りの家庭料理を作れること。休日は県内の観光名所をドライブして巡りリフレッシュする。好きな言葉は「コツコツと少しずつ」。

北京冬季五輪のジャンプ、複合競技で日本を沸かせた市出身の小林陵侑、小林潤志郎、永井秀昭選手の活躍に「喜びしかない」と目を細める伊藤時彦さん。40年以上、県スキー連盟ジャンプ部のコーチとして県内選手の育成・指導に携わり、バックアップを続けている。

自身も松尾中2年時から大学卒業までジャンプ競技の選手として打ち込んだ過去を持ち、大学卒業後に選手兼コーチとして活動を始め、40歳ごろからコーチ一本に専念して現在に至る。コーチとしてのモットーは、お互いが何でも話し合える関係。「上から目線では選手は育たない。一緒に考え、一緒に成長していくことが大切。だからこそ、シーズンの初めと終わりで選手の成長を感じられることが、自分のことのようにうれしい」と指導者の面白さを話す。県連を離れた選手にも目をかけ、21-22シーズンの夏、永井秀昭選手が実業団での練習中に、自転車で転倒してけがをした際には、県連合宿や鹿角での合同練習に招き、リハビリを兼ねて調子を取り戻す手助けをした。「年齢を感じさせず、挑戦し続けたヒデがメダルを獲り感動した」と教え子を褒めたたえ、岩手から羽ばたいた選手たちを「頑張りすぎないように頑張れ」と優しく見守る。

盛岡中央高の専属コーチとして、子どもたちが国内大会で、結果を残せるように鍛えることに力を注ぐ。「体力・技術・メンタルとバランスよく伸ばし、スポーツマンシップを理解できるような選手に育てたい」と次代を担うジャンパーたちに寄り添い、背中を優しく押す。

昨年８月に山形県山形市蔵王で行った県連合宿

■編集後記

▽入学式の撮影で西根中学校を訪問しました。誓いの言葉を述べた新入生代表と、歓迎の言葉を述べた在校生代表の堂々とした姿に驚くとともに、サポートの先生や栄養教諭、用務員も含め、多くの教職員が子どもたちの笑顔のために勤務していることを再認識しました。㊎

▽北京五輪に出場し多くの市民に感動を与えた永井秀昭選手と土屋正恵選手が市役所を訪問した際、取材させていただきました。両選手とも旧安代町で育ち、競技を続け五輪出場したことに同郷として誇らしく感じました。今後の活躍にも注目し追い続けたいと思います。㊍

【広 告】
コミュニティバス「にしね眼科」バス停すぐ
いぼ、癌、免疫系等
薬のプロフェッショナルがあなたのご相談を承ります
漢方のあさひ薬局 西根中学校前店
公認スポーツファーマシスト
国際中医専門相談員
認定実務実習指導薬剤師
薬剤師 斎藤貴将
八幡平市大更24-1-118(西根中学校前) TEL.0195-70-2311

※広報はちまんたい５月12日号(№323)の印刷経費は１部77.48円、発行部数は9,835部です。経費の一部は広告料で賄われています。広告掲載については、㈱総合広告社(☎019-626-3370)まで。